

研修会報告

平成 26 年 12 月 26 日
文責：輸血検査部門長 山形悟

研修会名 「平成 26 年度第 2 回輸血部門研修会」
開催日時 平成 26 年 12 月 20 日（土）13:15～17:00
会場 TKP カンファレンスセンター

講演 1 「輸血関連のトピックス」

- ①個別検体によるスクリーニング NAT の導入について
- ②輸血とデング熱について

講師：宮城県赤十字血液センター学術・品質情報課 一條浩一 会員

講演 2 「輸血検査自動化の現状」講師：各メーカー

- ①株式会社イムコア②オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
- ③株式会社カイノス④バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

講演 3 「輸血検査の基礎と異常反応への対処」

講師：東北ブロック血液センター品質部検査一課 伊藤正一 会員

生涯教育点数 基礎 20 点

参加者 会員参加者 50 名 非会員 9 名 賛助会員 4 名 学生 0 実務委員 5 名 講師 6 名
計 74 名

内容

講演 1：個別 NAT についてとデング熱を中心とした輸血に関わる感染症について講演していただきました。

講演 2：各メーカーより自動輸血検査機器について紹介していただきました。測定原理や機能はもちろん、機器の価格・検査コストについてもお話しいただきました。今後機器導入予定施設の参考になればと思います。

講演 3：血液型・不規則抗体・交差適合試験を中心に基礎的な内容から異常反応への対応（トラブルシューティング）についてお話いただきました。凝集判定の方法・血液型判定保留時の適合血選択等、日常業務に直結する内容でした。

今回は講演のみの形式でしたが、今後は実習形式の研修会を行い知識と技術の両方を取得できるようにします。